

製品名: FBP3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10861**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	FUBP3
別名	FUBP3; FBP3; Far upstream element-binding protein 3; FUSE-binding protein 3
遺伝子 ID	8939.0
SwissProt ID	Q96I24
免疫原	抗血清はヒト FUBP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

背景

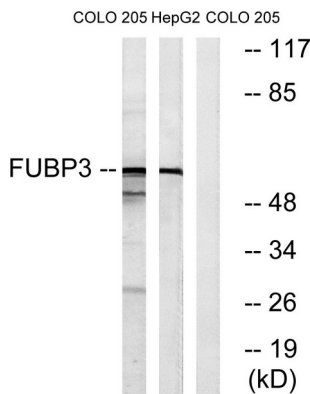
機能: FUSE (Far-upstream element) 由来の一本鎖 DNA と相互作用する可能性がある。遺伝子発現を活性化する可能性がある。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: 4つの KH ドメインを含む。組織特異性:

多くの細胞株で検出されている。機能: FUSE (Far-upstream element) 由来の一本鎖 DNA と相互作用する可能性がある。遺伝子発現を活性化する可能性がある。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: 4 つの KH ドメインを含む。組織特異性: 多くの細胞株で検出されている。

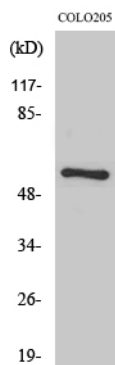
研究分野

-

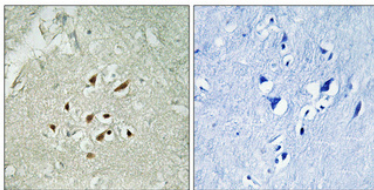
画像データ



FUBP3 抗体を用いた COLO 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FUBP3 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。